

ひとりひとりのつながりを大切にして
緊急・復興支援募金にご協力をお願いいたします。



©UNICEF/NYHQ2013-0924/Sanadiki

シリア緊急募金 2016年みなさまのご支援で出来たこと

★水と衛生

- 1,400万人が、社会基盤の整備やメンテナンスサービスを通じて、改善された安全な水を利用する事が出来た。
- 82万人以上が緊急/人道の衛生設備やサービスを利用できた。
- 支援が最も届きづらい地域の150万人に必要な保健、教育、水と衛生、栄養の支援を提供。

★保健・栄養

- 5歳未満の子ども851万人がポリオの予防接種を受けた。
- 166万人ちかくが一次保健施設を利用し、外来診察を受けることが出来た。
- 2万人弱の子どもが中度の急性栄養不良の治療を受けた。
- 120万人ちかくの子どもと妊婦、授乳中の女性が急性栄養不良の検診を受けた。
- 100万人ちかい子どもや20万人の妊婦・授乳中の女性を対象に栄養不良への検査を実施。46万人の子どもに栄養不良の治療を提供。

★教育

- 5-17歳の子ども316人が「学校に戻ろう」キャンペーンの一環で学用品(教科書、文房具、通学かばん)を受け取った。
- 33万人弱の子どもが非正規教育の機会を得た。
- ★子どもの保護
- 360万人の子どもたちが教科書、学校用品や非正規教育や正規教育への就学支援を含む、教育支援を実施。
- 180万人以上人が地雷/不発弾の危険回避教育を受けた。
- 630人の子どもがニーズに特化した子どもの保護サービスを受けた。

7年目を迎えるシリア危機

近隣諸国や欧州に避難する人が後を絶たず、支援が必要な子どもの数は800万人以上と、2012年当時の50万人から、15倍以上に膨れ上がっています。また、シリアやアフガニスタン、イラクなど紛争下にある祖国を逃れ、安全な場所を求めて地中海を渡った人は130万人ちかくだと言われています。

2015年1月から、のべ58万人以上の子どもが亡命を求めており、2015年に避難先を求めてヨーロッパにやって来た人々のうち、9万6,000人の子どもが保護者を伴わずに移動したとされています。

子どもたちには、保護が必要です。子どもたちには、守られる権利があるのです。ユニセフは紛争終結のためのより強力な外交努力を通じて、子どもたちに悲劇をもたらすこの巨大な流れの根本原因に取り組むべきであること、そして難民たちの祖国への開発支援と人道支援が必要であると国際社会に対して訴えています。

★その他

- 1,700人の脆弱な立場にたたされている家族が定期的な現金給付を受けた。
- 67万人の子どもが季節の衣類などの食糧ではない支援物資を受け取った。
- 支援が最も届きづらい地域の90万人以上に護送された車列や空中投下によってユニセフの支援物資を提供。

2016年度岐阜県ユニセフ協会事業報告

★募金の取扱：124件/4,125,232円

★イベント：50件/91日

★出前学習講師：19件(幼・小・中・一般)

★パネルの貸出し：38件

★DVDの貸出し：31件/65本

★日本ユニセフ協会賛助会員数：

団体会員 団体会員10口、

個人会員186人202口、

学生会員1人1口

★個人ボランティア登録数：39名

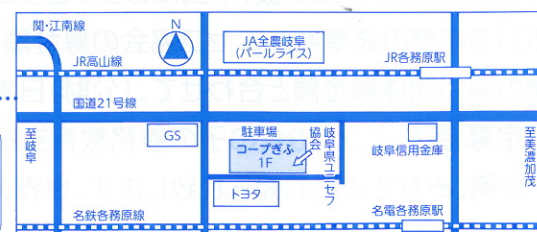
お気軽にお立ちよりください！

ユニセフ視聴覚ライブラリーの貸出し ユニセフの各種資料を取り揃えています。

岐阜県ユニセフ協会

〒509-0197 岐阜県各務原市鵜沼各務原町1-4-1
生活協同組合コープぎふ1階
☎058-379-1781 E-mail: gifuken@unicef-gifu.jp

★交通★
JR高山線
各務原駅下車(普通のみ停車)西へ徒歩8分
名鉄大井町線
名鉄各務原駅下車(急行停車)西へ徒歩8分



ユニセフ通信

2017 春号 Vol 11 号

unicef for every child

(公財)日本ユニセフ協会協定地域組織/
岐阜県ユニセフ協会

〒509-0197 岐阜県各務原市鵜沼各務原町1-4-1
生活協同組合コープぎふ1階
☎058-379-1781 Fax 058-379-1782
E-mail: gifuken@unicef-gifu.jp
http://unicef-gifu.jp/

2030年の地球をユニセフとともに考え、一緒に取りくみましょう！

持続可能な開発目標(SDGs)

「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」(外務省仮訳)より
SDGsの考え方 “誰ひとり取り残さない” No one will be left behind

すべての人のための目標の達成をめざし、もっとも脆弱な立場の人々に焦点をあてます。

5つのP - People, Planet, Prosperity, Peace, Partnership

人間、地球、豊かさ、平和のための目標であり、国際社会のパートナーシップにより実現をめざします。



SDGsの採択

2015年9月、「国連持続可能な開発サミット」が開催され、150を超える首脳が参加して、MDGsを受け継ぐ2030年までの新たな目標となる「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択されました。

17の目標と169のターゲットからなるSDGsは、ユニセフがSDGs採択前から重視してきた公平性のアプローチ、「誰ひとり取り残さない」を掲げ、

- ①MDGsで達成できなかった課題、
 - ②MDGsには含まれていなかった課題、
 - ③新たに浮上してきた課題、
- を包括的に含んだ、先進国も途上国も取り組むべき普遍的な目標です。

「2030年までの世界の共通目標」と聞くと、みなさん、自分とはあまり関係のないことだと思うのではないのでしょうか？

でも、想像してみてください。2030年、社会の第一線にいるのは、今の子どもたちです。

その2030年、世界はどうなっているのでしょうか？

地球はひとつしかありません。その地球には、課題が山積みです。地球のことは、地球に住むすべての人—先進国も、開発途上国も、大人も、子どもも—が、一緒に考えて、今すぐ課題に取り組んでいかなければ解決しません。

わたしたちが地球でずっと暮らしていけるように、国連や企業や有識者たちが知恵を寄せ合ってきた「持続可能な開発目標」。

「エアコンを使いすぎない」「車を使わず歩く」「食べ物を粗末にしない」。みなさんがもう気を付けていることだって、実は「持続可能な開発目標」に関係しています。

ひとりひとりにできること、学校・団体でできること、大きい会社だからできること…。小さい行動だって、集まったら大きな力。

自分たちにできることをはじめましょう。

(日本ユニセフ協会HPから <http://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/notice.html>)

みんなで祝った岐阜県ユニセフ協会 設立5周年記念行事！

2016年11月19日 「ユニセフ子どもの広場2016」「記念式典・講演会」

子どもの広場
(JR岐阜北口駅前広場)



ユニセフ子どもの広場2016

バルーンアートを楽しむ！



ユニセフハンド・イン・ハンド募金

記念式典

(会場：岐阜大学サテライトキャンパス)

設立5周年記念講演会

祝辞

岐阜県ユニセフ協会設立5周年
記念式典・記念講演会



岐阜県副知事 岸 敬也 氏



祝辞

岐阜県ユニセフ協会設立5周年
記念式典・記念講演会



岐阜市副市長 浅井 文彦 氏

挨拶

岐阜県ユニセフ協会設立5周年
記念式典・記念講演会



岐阜県ユニセフ協会会長 森脇 久隆 氏

岐阜県ユニセフ協会設立5周年
記念式典・記念講演会



記念講演会講師 忍足 謙朗 氏

祝辞

岐阜県ユニセフ協会設立5周年
記念式典・記念講演会



日本ユニセフ協会専務理事 早水 研 氏

ユニセフの目標達成をめざし、
次の十周年に向けて
どうぞ
ありがとうございます。
みなさま
これからも
岐阜県ユニセフ協会は
皆々まごころを
歩んでいきます。
「誰ひとり取り残さない」
すべての人のための
次へ

食糧支援
届けるのは「未来」
講師 忍足 謙朗 氏

活動報告 2016年9月～12月

開催日	イベント名・内容
9月11日 日	「オリーブの会・稲沢」第2回ユニセフ学習会
14日 水	アフリカ緊急募金活動(JR岐阜駅北口2階デッキ)
20日 火	第2回式典グループ会議
22日 木	メディアコスモス「秋まつり」に出展
29日 木	コープぎふユニセフ懇談会「ユニセフ学習会」
10月4日 火	5周年第5回実行委員会
7日 金	「世界手洗いの日プロジェクト」加納幼稚園
9日 日	「オリーブの会・稲沢」第3回学習会
13日 木	清洲市立新川中学校1年生出前授業(体育館)
15日 土	ソフトピアジャパン「ソフこいまつり」に出展
16日 日	コープフェスタ土岐(セラミックパーク)に出展
17日 月	「世界手洗いの日プロジェクト」子苑幼稚園
19日 水	事務局スタッフ会議
21日 金	ふれあい会館「男女共同参画推進サポーター交流会」
22日 土	岐阜県農業フェスティバルに出展
22日 土	JA農業祭「羽島なまづまつり」募金活動
23日 日	岐阜県農業フェスティバルに出展
26日 水	長野県中川西小学校出前授業
29日 土	コープぎふ尾崎店周年祭に出展
29日 土	学校生協「虹のフェアー高山」に出展
29日 土	「オリーブの会稲沢」稲沢福祉まつり
月30日 日	西濃医療生協第17回健康まつりに出展
11月6日 日	「岐阜市農業祭」募金活動(JR岐阜駅前)
7日 月	事務局スタッフ会議
12日 土	「各務原農業祭」募金活動(川重ホッケースタジアム)13日
12日 土	JAいび川フェスティバル募金活動
13日 日	「オリーブの会・稲沢」第4回学習会
13日 日	「ひがしみの農業祭」募金活動(東美濃ふれあいセンター)
19日 土	5周年記念「ユニセフ子どもの広場」式典・記念講演会
20日 日	オリーブの会稲沢ハンドインハンド募金
23日 水	「アグリフェスタ」募金活動(土岐市セラピア土岐)
27日 日	オリーブの会稲沢社協西尾張ボランティアフェスバル
12月3日 土	聖マリア女学院「ハンドインハンド」
4日 日	「JAごはんフェスタ募金活動(メディアコスモス)」
6日 火	5周年第6回実行委員会 5周年まとめの会
7日 水	聖マリア女学院ハンド募金の受取
10日 土	イオンタウン名西「ハンドインハンド募金」
11日 日	「オリーブの会・稲沢」第5回学習会
18日 日	「オリーブの会・稲沢」ハンドインハンド募金活動
21日 水	事務局スタッフ会議
23日 金	聖マリア女学院クリスマスの会に出展
27日 火	大掃除、スタッフまとめの会

10/7 加納幼稚園
「世界手洗いの日プロジェクト」寸劇



10/7 子苑幼稚園にて
寸劇「手洗いマンとバイキンマン」



各地のJAまつりに出展しました



▲10/22 羽島なまづまつり



▲11/12 JA各務原まつり



▲10/22 岐阜県農業フェスティバル

10/26
長野県中川西小学校出前授業



インド女子教育指定募金について

3年間で協力いただきましたインド女子教育指定募金は、
2016年末で終了いたしました。

長い間のご協力・ご支援、本当にありがとうございました。

2016年度の岐阜県ユニセフ協会の募金額は1,917,234円となりました。

他の協力団体募金額と合わせて、(公財)日本ユニセフ協会より、10万ドルが国連本部に拠出されます。

指定募金は、インドの女の子の義務教育支援に使われます。そのご報告は、ユニセフ・インド事務所から報告書が届き次第、みなさまにお知らせ致します。世界のどこに生まれても、持って生まれた可能性を十分に伸ばして成長できるように、これからもユニセフ募金へのご協力、どうぞよろしくお願いいたします。



インドアッサム州の小学校